

2017 5月

Vol. 20

京丹波森林組合 も り 森林の便り

京丹波森林組合 合併10周年記念式典開催



(記念式典会場 / 京丹波町和知ふれあいセンター)



発行:京丹波森林組合

〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄木下9番地

TEL. 0771-84-0086 FAX. 0771-84-1018 / 企画・編集: 総務課

合併十周年記念式典 主催者あいさつ



京丹波森林組合
代表理事組合長 梅原久弘

春の息吹が愈々鮮やかに感じ

られる今日の佳き日、ここ和知ふれあいセンターにおきまして、京丹波森林組合の合併10周年記念式典を開催致しましたところ、ご案内申し上げました皆さまには、ご多用の中をかくも多数御出席頂き、盛大に挙行できますことを大変ありがたく、心より感謝申し上げます。

京丹波町が発足しました翌年、

平成18年12月20日に丹波・瑞穂・

和知の旧3町森林組合が合併し、

私も京丹波森林組合が誕生致

しましてから丸10年、お陰様で

健やかに本日を迎えることがで

きました。

これはもとより、旧組合の頃から現在に至るまで組合経営の発展と事業の推進のため、熱い思いを以って並々ならぬご尽力を頂き、本日感謝状をお渡しさせて頂く先達の皆様をはじめ、組合員や歴代の総代・役職員の皆さまから、深いご理解とご協力を頂戴することができたからでございます。

加えて平素は、当組合の活動

を大きくお支え頂き、本日より

賓として臨席賜っております岩

永・京都府南丹広域振興局長様、

寺尾・京丹波町長様、青合・京

都府森林組合連合会長様をはじめ、

町議会や府議会、森林総合研究所、林業労働支援センター、府立林業大学校、仲間の周辺森林組合など数多くの皆様から、変わらぬご厚情を賜っておりますお蔭でございます。高座からではございますが、この場をお借り致しまして、地元の皆様にご来賓の皆さまに改めて厚く御礼申し上げます。


さて、合併以前の3組合は、

夫々のカラーで独自に歩んで参

りましたが、合併後は、和知地

区で先行・実施されていた「提

案型集約化施設」こそ、質量と



もに拡がった3地区の山の姿・形に沿って、柔軟に森林整備を進められる良い手立てであると考えまして、計画的に取り組み、旧3組合間での良い山づくりの足並みができるだけ揃えられるよう、工夫し努力した10年間でありました。

ご案内の通り、私たちの周りにある森林は、木材など林産物の生産や四季折々の豊かな景観として大切であるばかりでなく、水源の涵養^{かんよう}や洪水・山崩れを防ぐ緑のダムの役割、更に二酸化炭素の吸収と酸素の供給といった地球環境を守る役割など、日本の森林全体で果たしている多彩な公益的機能は1年間に約75兆円に達すると評価されております。

一方、国産材の需要減退や木

材価格の低迷により、森林所有者の皆さまの山に対する意欲・関心の低下という厳しい実情を何とか地域の話し合いで乗り越えて、提案型集約化施策を推進することが、森林の持っている多様な機能を維持・増進する道でもございます。

特に、戦後植林された人工林が利用期に達し、「育てる森林から利用する森林」へと木質資源の活用に向けた取り組み、例えば府立丹波自然運動公園の大規模木造トレーニング・センターへの京丹波町産材の提供と伐採跡地の再造林を一昨年から実行致しましたように、再生産が可能な、貴重な木材資源が循環できるサイクルが無理なく組み立てられるように、1日も早く目途を立てることが、わが国林業

が今日抱えている最大の課題であると存じております。

私ども京丹波森林組合は、以上のような取り組みを継続・発展させて参りますため、初めての中期計画を作成致しました。「Think Globally, Act Locally!」(地球規模で考え、足元の地域から着実に行動しよう!)を合言葉にして、まずは5年後を目指し、私たち役員とFK(現場作業者)一同は、本日お集まり下さいました皆さまと手を携え、歩みを共にして、邁進する所存でございます。皆様の変わらぬご指導ご支援ご鞭撻を衷心よりお願い申し上げます。

合併10周年記念式典

京丹波森林組合の合併十年の節目を祝う記念式典が、平成二十九年三月十八日、京丹波町和知ふれあいセンターに於いて、多くのご来賓の方々をはじめ、総代、林業推進委員の皆様、百名余りのご出席のもと、盛大に開催されました。

式典では、開催に当たり主催者を代表し、梅原組合長が式辞を述べた後、合併時にご尽力いただいた当時の役員の方々を始め、当組合の経営の発展や事業の推進にご協力いただいた個人・団体の皆様へ感謝状を贈呈し、また、他の模範となるフォレストキーパー・職員に対して表彰を行いました。

続いて、ご来賓の方々を代表し、京都府南丹広域振興局長 岩永美好様、京丹波町長 寺尾豊爾様、京都府森林組合連合会代表理事会長 青合幹夫様、京都府議会議員 片山誠治様にご祝辞を頂戴いたしました。

式典終了後には、会場横の駐車場前において、職員による「チェーンソーアート」のデモンストレーションも行われ、多くの方々の注目を集めていました。



～ 記念式典において、感謝状及び表彰状をお受けになられた方々 ～

1. 功労者表彰(個人の部)

御芳名	ご功績内容
谷 峰 男	3組合合併に尽力し合併後の組合経営を牽引(元和知町森林組合長・合併後初代組合長)
横 山 均	3組合合併に尽力(元丹波町森林組合長)
上 田 孝 夫	3組合合併に尽力(元瑞穂町森林組合長)
谷 垣 俊 輔	合併後、副組合長を3期重任
樋 口 義 昭	合併後、常勤の代表理事を3期重任
須 知 要	丹波地区において、地元森林の取りまとめと搬出間伐事業をはじめとする森林整備を推進
稲 元 源 太 郎	瑞穂地区において、地元森林の取りまとめと搬出間伐事業をはじめとする森林整備を推進
西 村 剛	和知地区において、地元森林の取りまとめと搬出間伐事業をはじめとする森林整備を推進

2. 功労者表彰(団体の部)

御芳名	ご功績内容
長 老 愛 林 会	所有森林の整備を通し、組合活動の発展に寄与
桧 山 財 産 区 管 理 会	所有森林の整備を通し、組合活動の発展に寄与
梅 田 財 産 区 管 理 会	所有地を木材集積土場として貸与するなど、地域の搬出間伐事業の推進に貢献
三ノ宮財産区管理会	総研等分収造林事業の推進に貢献(戸津川区貸与地)
質美財産区管理会	総研等分収造林事業の推進に貢献(北久保区、質美下村区貸与地)
実勢区生産森林組合	総研等分収造林事業の推進に貢献
仏主生産森林組合	京都トレーニングセンター建築用材を提供すると共に、再造林を伴う循環型森林経営の推進に寄与
広 野 区	京都トレーニングセンター建築用材を提供すると共に、再造林を伴う循環型森林経営の推進に寄与
大 簾 生 産 森 林 組 合	京都トレーニングセンター建築用材を提供すると共に、再造林を伴う循環型森林経営の推進に寄与

3. フォレストキーパー表彰

御芳名	ご功績内容
田 中 太 郎	合併以前から長年にわたり作業班として従事(勤続年数20年6ヵ月)
手 島 巨 人	FK連絡協議会会長を2期重任(勤続年数16年9ヵ月)
田 村 哲 也	保育作業の第一線で活躍し他の模範となる(勤続年数16年5ヵ月)
八 木 昭 広	伐採・搬出班の中心的役割として他の模範となる(勤続年数7年)
高 橋 達 仁	伐採・搬出班の中心的役割として他の模範となる(勤続年数4年1ヵ月)

4. 職員表彰

御芳名	ご功績内容
堀 留 義 隆	公共分野を中心に事業の適正化を図り、組合経営に寄与
吉 田 学	森林プランナーとして森林整備を推進し、組合経営に寄与
竹 内 俊 行	森林プランナーとして森林整備を推進し、組合経営に寄与
岡 野 誠	森林プランナーとして森林整備を推進し、組合経営に寄与
松 下 信 之	作業道開設オペレーター指導員として路網開設を推進し、組合経営に寄与
西 田 和 志	林産事業について、伐採搬出班の編成及び林大実習指導の中心的役割を担う

後第11回) 通常総代会の開催

平成二十九年三月十八日・午後一時より、合併十周年記念式典に引き続き、京丹波町和知ふれあいセンターにおいて第六十二回（合併後第十一回）京丹波森林組合通常総代会が、本人出席百名、代理出席六名、書面出席三十六名の計百四十二名の総代の皆様にご出席いただき盛大に開催されました。はじめに、主催者を代表して梅原組合長より、本総代会開催のお礼と今回の役員改選に伴い任期満了による退任を迎えるにあたり、二期六年間に亘るご指導ご支援に対するお礼を述べられました。

議長には、丹波地区口八田の今西 保様が選出され、総代の皆様には第一号議案から第十号議案の十議案につき慎重にご審議いただき、すべての議案が原案通り承認されました。ご承認いただきました各議案は次のとおりです。

第1号議案

平成28年度 事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認について

第2号議案

平成29年度 事業計画書承認について

平成29年度 取扱手数料、証明手数料徴収額及び徴収率決定について

1. 取扱手数料	資金取扱手数料	貸付元金に対し	年	0.50%
造林補助金取扱手数料	補助金の			10.00%
受託販売林産手数料	売上価格の			10.00%以内
受託造成事業手数料	事業費の			15.00%以内



平成29年度 第62回(合併)

- 2. 一般証明、公簿閲覧料……………1件 300円
- 但し、立木証明は一筆を増すごとに……………100円
- 3. 林地評価手数料

評価額	手数料率	最高限度
100万円 未満	1000分の10	8,000円
200万円	〃	12,000円
500万円	〃	25,000円
1,000万円	〃	40,000円
2,000万円	〃	60,000円
5,000万円	〃	100,000円
5,000万円 以上	2	

上記手数料以外に実費は徴収する。

第4号議案

- 4. 林地供給手数料 売主買主によりそれぞれ売買成立価格の ……3.00%以内
- 5. 生産森林組合の事務委託料 ……年 30,000円以内
- 平成29年度 借入金最高限度額決定について
- 最高限度額 ……8,000万円以内
- 但し、制度資金を除く

第5号議案

余裕金預入先金融機関決定について
 京都農業協同組合、京都銀行、京都北都信用金庫

第6号議案

平成29年度 理事14名の報酬額決定について 一金……………950万円以内

第7号議案

平成29年度 監事3名の報酬額決定について 一金……………50万円以内

第8号議案

一組合員に対する貸付金額の最高限度額決定について
 一組合員に対し払込み出資金の20倍以内で200万円以内とする

第9号議案

定款の一部改正について
 役員任期満了による改選について

第10号議案

平成28年度 決算報告の概要

貸借対照表

(平成28年12月31日現在)

科目	金額(円)	科目	金額(円)
資産の部		負債の部	
流動資産	292,235,425	流動負債	46,074,737
固定資産	33,179,869	固定負債	46,335,600
小計	325,415,294	小計	92,410,337
		純資産の部	
		出資金	72,154,000
		利益剰余金	160,850,957
		(当期剰余金2,513,444含む)	
資産合計	325,415,294	負債・純資産合計	325,415,294



議案の協議風景

損益計算書

(平成28年1月1日から12月31日)

科目	金額(円)	一般事業		
		指導	販売	森林整備
I 事業総損益				
事業収益	221,662,879	108,000	5,811,938	215,742,941
事業費用	103,276,818	11,270,434	0	92,006,384
事業総利益	118,386,061	△ 11,162,434	5,811,938	123,736,557
II 事業損益				
事業管理費	118,077,515	15,350,072	3,542,323	99,185,120
事業利益	308,546	△ 26,512,506	2,269,615	24,551,437
III 経常損益				
事業外収益	3,971,391			
事業外費用	0			
事業外損益	3,971,391			
経常利益	4,279,937			
IV 特別損益				
特別利益	9,878,508			
特別損失	8,645,001			
特別損益	1,233,507			
税引前当期純利益	5,513,444			
法人税等	3,000,000			
当期剰余金	2,513,444			
前期繰越剰余金	2,603,415			
当期末処分剰余金	5,116,859			

摘要	小計(円)	合計(円)
I 当期末処分剰余金		5,116,859
II 剰余金処分額		2,000,000
法定準備金(当期剰余金1/5以上)	1,200,000	
出資配当金		
特別積立金		
施設準備積立金		
退任慰労積立金	800,000	
損失補填積立金		
III 次期繰越剰余金		3,116,859

平成28年度 剰余金処分案

平成29年度 事業計画

損益計画

(平成29年1月1日～12月31日)

科目	金額(千円)	一般事業		
		指導	販売	森林整備
I 事業総損益				
事業収益	245,730	0	5,750	239,980
事業費用	124,722	11,659	0	113,063
事業総利益	121,008	△ 11,659	5,750	126,917
II 事業損益				
事業管理費	120,800	15,703	3,623	101,474
事業利益	208	△ 27,362	2,127	25,443
III 経常損益				
事業外収益	920			
事業外費用	0			
事業外損益	920			
経常利益	1,128			
IV 特別損益				
特別利益	3,200			
特別損失	3,200			
特別損益	0			
税引前当期純利益	1,128			
法人税等	500			
当期剰余金	628			
前期繰越剰余金	3,116			
当期末処分剰余金	3,744			

損益及び取扱計画(部門別総損益)

(平成29年1月1日～12月31日)

区 分		金額(千円)	損益の算出基礎				
指導部門	収益	0	指導費	間伐推進指導(負担金) 他			
	費用	11,659					
	損益	△ 11,659			情報費	組合だより 他	
販売部門	収益	5,750	素 材	6,800㎡			
	費用	0					
	損益	5,750			チップ	1,200t	
森林整備部門	森林整備	収益	147,244	請負森林造成他	104.94ha		
		費用	85,393				
	利用	収益	83,236			受託・間伐手数料	177.15ha
		費用	20,170			森林総研(3者)	新植他 52.41ha
	購買	収益	9,500			作業道	9,079m
		費用	7,500				
	金融	収益	0			森林土木工事収入	林道維持管理
		費用	0				支障木伐採等
	小計	収益	239,980			調査収入	立木調査
		費用	113,063			補助金	緑の担い手育成事業
損益		126,917	事務委託金収入	生森事務委託料他			
総 計	収益	245,730	利用雑収入	職員林産・作業他			
	費用	124,722					
事業純利益		121,008					

就任のごあいさつ



京丹波森林組合

代表理事組合長

樋口 義昭

新緑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびの通常総代会におきまして、各ブロック等より推薦を受けられました理事・監事候補は、総代の皆様よりご承認を受けることができました。

その後の初理事会におきまして、不肖私が梅原久弘組合長の後を継がせていただくこととなりました。

私は、昭和55年1月に旧和知町森林組合に入り、平成23年3月までの31年間職員として、また、その後6年間専務理事として、和知地区で推進しました提案による森林整備の取組を、新たな京丹波方式として丹波・瑞穂地域を重点に間伐を推進してまいりました。

このように長期間に亘り京丹波町の森林に係わる仕事に携わられていますことは、多くの組合員皆様のご協力とご支援、更には的確なご指導をいただけたことに尽きます。

今日の厳しい林業情勢の中、町の83%を占める森林を今後活かすためには、引き続き組合員皆様の格別なご理解とご協力、そして町民皆様が、安全で安心していただける森林づくりを進めることが第一と考えているところです。

京丹波町におかれましては、町の大切な森林資源が活かせるよう基盤となる林道整備をはじめ、木質バイオマスを燃料とした地域熱供給システムの取組、また地域資源と経済が循環することによる定住促進等、積極的な取組が進められています。

森林組合におきましても、梅原前組合長により、平成28年度から五カ年を期間としました「京丹波森林組合中期計画」が作成されました。

平成27年度を現状とし、年度ごとの目標数値も設定され、特に素材生産量については、現状7,000㎡の取扱量を五年後には、10,000㎡の取

扱量に目標値が定められています。この目標値を達成することで、京丹波町の成熟したスギ・ヒノキが市場等へ搬出され、組合員様の収入にと繋がり、更に木を伐り、植える、育てると循環する森林づくりとなるよう努めてまいります。

特に本年度は、新たな役員体制となり、全役員並び職員でこの「京丹波森林組合中期計画」が組合員皆様にご理解いただけるよう、各地域へ出向き「森林組合懇談会」の開催に向け計画いたしますので、組合員の皆様にはご足労をおかけしますが、宜しくお願いいたします。尚、林業推進委員様並びに総代の皆様方には、その節には大変お世話になります。宜しくお願ひ申し上げます。

前組合長同様にご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。



丹波 須知ブロック



副組合長理事
塩尻 完

その時、「分け入っても分け入っても青い山」という、山々の中を進んでも進んでもひたすら山で、放心状態で無の心模様を表現した種田山頭火の俳句を思い出しました。

山の事にも、山林についてもほぼ無縁で意識の無かった私が、降ってわいたように突然、京丹波森林組合の理事、さらに副組合長を仰せつかる事になりました。しかしながら、副組合長として、恐縮ではありますが組合員様の視点でチェック機能となり、さらには京丹波森林組合発展のため、できうる限り組合長や職員やFKの皆様の一助となれるよう精進していかなければならないと考えております。

まだ就任して間もないですが、理事会で耳にしたことや資料から、京丹波の青い山は、長い歴史の中を先輩の皆様が育み作り上げてこられた価値ある資産であることを感じ、このような機会を与えて頂いたことに感謝し、「分け入っても分け入っても青い山」をワクワクした気持ちで役目を果たせればと思っておりますので、どうかよろしく願い致します。

瑞穂 梅田ブロック



副組合長理事
上田 正

このたび副組合長に就任しました上田です。

森林は、古来より木材の生産、薪や木炭、菌類の採取等により地域の生活や発展に寄与し、又きれいな水や空気を育み、四季折々の移ろいは情緒豊かな人間性を育んできました。加えて土砂災害防止等の公益的機能を有しています。

これら貴重な森林資源を守るため、先輩諸氏らの懸命の努力にも関わらず、高齢化の進行や木材価格の低迷などにより山の手入れは滞一途であります。

こうした中、本組合は、間伐を中心とした施業の集約化と先進技術の活用等による効率的な事業運営に役職員一体となり取り組むとしています。本計画の着実な推進に向け微力ながら務める決意です。何卒よろしく願い申し上げます。

丹波 竹野ブロック



理事
船越 正明

この度の京丹波森林組合の理事になりました竹野地区の船越と申します。

森林関係の知識は、誠に申し訳ありませんが全くと言っていい程ございません。一からの勉強です。組合長を筆頭に、皆様に教えて頂きながら、森林組合活動に自分自身の協力できることを考えて任期の3年間、森林知識を養っていき、皆様と協力して活動していこうと考えています。

皆様には、大変ご迷惑をかけると思いますが宜しくお願い致します。

和知 第5ブロック



理事
藤山 俊子

この度の役員改選によりまして、思いがけず理事という大役をお受けすることになりました。山に囲まれ自然豊かな京丹波町、森林は木材を産出するだけではなく、暮らしの中でも気付かないうちに多くの恩恵を受けています。この森林は、過去の人々から世代を越え守り維持されてきたものであり、次世代へと繋げなければなりません。

森林組合が地域に果たす役割は大きいものと思います。無知で何の経験もない者ですが、務めさせて頂きますので、ご指導とご支援をよろしく願い申し上げます。

新しく就任された役員の皆様さん

瑞穂 質美ブロック



理事
岡本三千代

この度、何も分からない私が、このような大役を受けてしまい、戸惑いと不安一杯でスタートを迎えることになりました。

私に何が出来るのかわかりませんが、精一杯勉強させていただきますので、どうかご指導の程、よろしくお願い致します。

和知 第1ブロック



理事
隅山 寛之

私たちの地域は、昔から山の恵みを受けて暮らしてきたと言われてます。その恵みの一つに松茸があります。今や松山は松クイ虫の被害を受け、松茸は激減してしまいました。私の地区では、その後、松クイ虫に強いという抵抗性松を植林した山があります。下刈等が済んでから10年になる今年の春、山へ見に行くと松が大きくなり、松林が出来つつありました。30年か40年先にこの山から再び松茸が出ることを期待し、次の世代の人達が山の恵みを受ける日が来るのを望んで山を下りました。

山への投資は、子や孫の時代への投資。今回、理事に就任するにあたり、良い山づくりに微力ながら頑張りたいと思います。

和知 第4ブロック



理事
梅原 和子

この度地域の推薦によりまして、理事という大役をお受けすることとなりました。

林業に関しては全く無知ですので、私に務まるか大変不安に思っているところです。また、近年の農林業の情勢は大変厳しい状況にあると伺いました。その中で、山林の保全や環境問題等々、森林組合の役割は多岐にわたり、とても重要であると思いません。

女性の視点で、少しでもお役に立つことが出来ますよう努力して参りますので、皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

和知 第3ブロック



理事
田井 均

この度、地域の推薦により理事に就任することになりました。

林業を取り巻く情勢は厳しい状況が続いています。このような状況下では、将来を見つめた森林整備が必要と思われます。

特に間伐施策が大切で、地球温暖化防止や水源の涵養、土砂流出防止、間伐材の販売に繋がるのではないかと考えております。

地域の活性化には林業振興が不可欠であると考えます。未熟で経験もない者ですが、皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い致します。

和知 第2ブロック



理事
片山 輝夫

春は間伐、夏は下刈り、秋は枝打と、一昔前までは孫、ひ孫の代までと、私達の先人は杉・檜などの山を守り、財産として大切に育てて来てくれましたのに、生活様式の変化と輸入木材等に押され、山はだんだんと荒れて行くように思われます。しかし、この度、森林組合一筋の経験豊富で実績のある樋口義昭氏が組合長に就任され、新組合長のもと職員の方々と、現場作業の皆さんが一丸となり頑張っていただけだと思います。林業は大変危険を伴う仕事ですので、怪我の無いように作業をよろしくお願い致します。

後になりましたが、この度の改選で和知第2ブロック上乙見区より選出されました片山輝夫です。もとより、その器ではございませんが出来る限り務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

瑞穂 松山ブロック



理事
酒井 正三

この度、平成29年度総代会において理事に選任されました。今後は職員と一丸となって、それぞれの分野でご活躍されるのは勿論のことですが、一方私は、森林事業に対しマイナス志向で考えておりました。この機会に少し前向きに見て行きたいと思っております。

皆さん全員で自己紹介して頂いたとき、力強い元気な声に京丹波町の森林及びそれに伴う森の環境、その他全て着実に進んでいることを確認して頂いたような、そんな気持ちになりました。

大変なお仕事でご苦労が絶えませんが、これからも私たちの森林をよろしくお願い致します。

ブロックの区域外



理事
竹内 俊行

この度、役員改選におきまして、職員であります但理事も兼ねることとなりました。

森林組合に勤めて30年になります。また、京丹波森林組合が発足して10年が経ち、今後の5年、10年に向けて、これまでの経験を活かせるよう、災害に強い京丹波の良い山造りが進められ、少しでも京丹波町産材が利用できるよう、間伐等の森林整備を重点に取り組んで参ります。また、樋口組合長の下、組合員様の期待に少しでも応えられるよう努めて参りますので、皆様方のご指導、ご協力をお願い致します。

瑞穂 三ノ宮ブロック



理事
前田 和成

今年は大雪の爲、あちこちの山で杉の木の倒木、途中で折れた木肌が目につき、荒れた山になりました。

私は、今年度から京丹波森林組合の理事になりました、よろしくお願ひします。これまでは山に関心もなく村用で下刈に行く程度ですが、今は木も大きくなり、下刈も無くなりました。若い頃先輩方に連れられ植林をした事があります。「この木が使えるのは子供や孫の代やな」と言っていました。木の成長は長い時間をかけるもので手間もかけます。

私は建築関係の仕事をしています。「家を建てるなら、木の家がいい」という声はよく耳にしますが、「家を建てるなら、鉄骨やコンクリートの家がいい」という声は、正直なところあまり耳にしません。やはり、多くの方が木に安らぎを感じるのでしょう。木は燃料にするだけでなく雨が多く蒸し暑い日本の気候とうまく付き合うために木の吸湿放湿性や断熱性を活かした、また、加工のしやすさや軽さを活かした材料として建材に利用されています。今後、京丹波町産の材木が市場に出ることを期待しております。

美しい山を守るため、職員の皆さん、フォレストキーパーの皆さんよろしくお願ひします。

和知 第6ブロック



理事
原田 照夫

林業を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、役職員の積極的かつ懸命な努力により、確実な事業成績を上げられている事に対しましてまずもって敬意を表したいと思います。

私も10年前に理事の末席にあり、合併問題に取り組んだ一員であり、過日の10周年記念式典を終えられた事、誠におめでとうございませう。

今回も理事を務めることとなりますが、林業情勢は未だに厳しいものがあり、今後、有質材の育成また地球温暖化の対策、それと間伐材の有効利用等々について、役職員で英知を結集し時代に合った事業の展開と後継者の確実な育成を念頭に、各事業の遂行を行うため力になりたいと思ひますので、ご指導ご鞭撻をお願ひ申し上げます。

丹波 下山ブロック



監事
山口 正城

この度の改選において、地域の推薦により監事に就任することになりました。山に囲まれた生活環境にありながら、林業の経験や知識も無く恐縮しております。

山の魅力と森林の果たす役割と私達は、未来永劫共存していかなばなりません。

森林の計画的な保育活動・維持管理等、多岐にわたる事業に従事されている森林組合の役職員の皆様と共に、計画の実践に向かって微力ながら努力いたす所存です。

皆様のご指導ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

瑞穂 質美ブロック



監事
山下 康弘

和知、丹波、瑞穂の森林組合が合併して10年を迎えました。

和知方式として取り組まれてきた方策を継承し、施業団地をまとめ、作業道の整備を進め、高性能林業機械を整備・活用して低コストで個人負担なしの間伐を進めるなど、大きな変革を見てきました。

3年前、理事として参画する機会を頂いたことで、森林を見たり、聞いたりすることも多くなり、また、そこで働く職員の頑張りにも感銘を覚えたこともありました。

今回、監事としてお世話になりますがよろしくお願ひ申し上げます。

和知 第4ブロック



代表監事
野間 雅彦

この度、役員改選により監事に推薦され就任することになりました。山への関心は薄くなり、木材・林業を取り巻く情勢は非常に厳しい状況にあります。京丹波ぬもりの椅子事業により、赤ちゃんが肌で木の感触を感じ成長していくことや、京丹波町の地域熱供給施設の完成で地元産材が燃料として使われ、地産地消が進められるなど明るい話題もあります。

川上は川下の暮らしを支えていると言われるよう、地域周辺の山々が少しでも整備されて保水力を高め、災害に強い山を作り、四季折々の顔を見せる自然の恵みを受けたいものです。

林業経験はありませんが、皆様のご指導とご支援を受けて、職務の遂行に努力したいと存じておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

国民の祝日「日の日」制定記念

「記念植樹の森」造成に力をつくす

平成二十八年四月「豊かな森を育てる府民税」が創設されたのを契機に、京丹波町に対し交付される財源で「記念植樹の森」を造成しました。尚、京丹波森林組合の合併十周年の記念事業との併催事業として取り組んだものです。

京丹波町に関わりのある町民が、卒業記念・結婚記念等節目となる時、記念植樹を行い、故郷との絆を持てる場所を作ることを目的としています。

土地所有者 松山財産区・大朴生産協同組合のご理解のもと、道の駅「瑞穂の里さらびき」の北東側の日当たりの良い斜面を活用し0.30ヘクタールを造成しました。

その第一歩として、三月十六日(木)瑞穂小学校六年生、三十四名が卒業記念としてハナミズキ(花言葉:永続性)とモクレン(自然への愛)計七本を植樹しました。

卒業記念として植えた木の成長を見守り、これからの人生の折々に京丹波町を思い出して欲しいものです。



春の森林組合感謝DAYの開催

四月八日(土)松山の森林組合瑞穂支所にて、また、四月十日(月)和知本所において「春の森林組合感謝DAY」を開催いたしました。一日目の瑞穂支所では、朝から雨が降る悪天候の中、瑞穂・丹波地区から二〇〇名ほどのお客様がご来場いただき、二日目の和知本所でも、一〇〇名を超えるお客様がお立ち寄りくださり、盛況のうちに終わることができました。

昨年から実施している、チェーンソー目立て教室も好評で、参加者の方々は熱心に説明を聞いておられました。また、今年度は職員による「チェーンソーアート」のデモンストラーションも行われました。

